



若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

発行 平成31年3月22日
横浜市立若葉台中学校
学校だより 最終号
校長 岩永 徹
副校長 佐久間桂一

ありがとうございました

校長 岩永 徹

3月11日（月）、第12回卒業証書授与式を挙りました。私は式辞にて、

「みなさんは、4月から新しい環境で生活を始めます。今までに経験したことのない出来事がたくさん待っていると思います。

しかし、

『人生は一度だけ、命は一つだけ』

です。大切に、大切に生きてほしいと思います。」

と伝えました。小さいころから愛情を注いでくださった保護者や地域の皆様のおかげで、88名の卒業生たちはこの広い大空に、未来を信じて、飛び立って行きました。深く感謝しております。これからも、温かく見守っていただけたら幸いです。

3月25日（月）の修了式をもって、本校の平成30年度の教育活動は終わります。ここまで、大きな事件や事故もなく、生徒たちが健康で充実した学校生活を送れたことに、まずはホッとしております。子どもたちは、いろいろなことに悩みながらも、この一年で心身ともに大きく成長しました。この年度末に、ぜひご家庭でもお子様の成長を祝ってあげてほしいと思います。

本校に関わってくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。

新たな気持ちで

副校長 佐久間桂一

今年度も地域の方々、保護者の方々に支えていただき若葉台中学校の教育課程を滞りなく行うことができました。ありがとうございました。

4月1日に新たな元号が発表されるということですが、新しい時代を迎えるというのは気持ち切り替わるものですね。来年度から道徳が教科化され、再来年度から新しい指導要領のもと新教育課程での教育活動が始まります。このように今年、来年は色々な意味で初心に帰れる年かなと思っています。今後とも子どもたちの成長のためにご協力いただくことが多々あるかと思いますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

第12回卒業証書授与式

平成30年度横浜市立若葉台中学校の第12回卒業証書授与式が3月11日に行われ、88名の生徒たちが巣立っていきました。

今年は、高校入試の関係で月曜日が卒業式となりましたが、平日の週の初めにも関わらず多くの方々に御臨席いただきました。

昨年度と同様雨でしたが、式の途中で雨も上がり、暖かな気温の中で粛々と式は行われました。

卒業式では、生徒会長が自分の想いを答辞で語るとその言葉に卒業生たちは一人、二人と目に涙を浮かべはじめ、それを見た学年主任（司会）がハンカチで目を抑えるとまた卒業生たちの多くが涙を流していました。保護者の方々も子どもたちの成長に目頭を熱くしていました。今年も本当に感動的な卒業式に参加できたことに感謝です。これだけ多くの方々に感動させてくれた卒業生の皆さん本当にありがとうございました。そしてこのような子どもたちを育てた保護者の皆さんありがとうございました。最後にいつも子どもたちの見守りを続けていただいている地域の皆様には本当に頭が下がります。これからもよろしく願いいたします。



/4月の主な予定/

- 5日（金）着任式・始業式/入学式 13:00
- 8日（月）離任式・身体計測（生徒登校9:00）
- 9日（火）新入生オリエンテーション
- 10日（水）部活動オリエンテーション・学級写真
- 11日（木）・12日（金）・16日（火）・17日（水）教育相談
- 13日（土）授業参観・学級懇談会、部活動・学校評価・校外学習説明会
- 18日（木）3年全国学力学習状況調査
- 23日（火）・24日（水）・25日（木）・26日（金）地域・家庭訪問

お知らせ

学校のメール配信の更新について

現在本校では、学校の配信メールは「まちコミ」メールを使用しています。現1年生、2年生の年度更新は、4月に学校の方で行います。そのまま消さずにお持ちください。

平成30年度学校評価

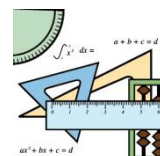
はじめに

年度末にともない来年度に向けて職員の反省・保護者の評価・子どもたちの評価・地域の方々の評価をおこないました。今年度も色々な角度から評価や反省をいただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。また、中期学校経営方針（3年間の計画）が今年度最終年であり、今年度の反省や評価をいかし、来年度新たに中期経営方針が策定されます。学校評価報告書は、学校のwebでお知らせいたします。

学校評価の考察と来年度に向けて

生徒理解・生徒指導について

生徒・保護者の方々から職員の生徒への対応は丁寧に行われているという評価を受けました。職員も日常的な生徒への声かけや相談活動を積極的に行う意識を大切に、丁寧に対応することを心がけていることがわかりました。来年度も「報告・連絡・相談」をより大切に、情報を共有して、誰もが安心して生活できる学校づくりを目指していくよう全教職員で全生徒を見守る指導を継続していきます。



教育課程・学習指導について

今年度も継続して「授業改善月間」「授業改善討議会」など、授業力を向上させていく機会を多くもちました。その結果として、子どもたちの学力は徐々に身につけていることが横浜市の学力学習状況調査で目に見える結果として表れました。しかし、職員反省では、個人の授業改善に向けた取組に関して、それぞれが課題と不安を感じながら取り組んでいることがわかります。来年度は、個人の授業改善に向けた取組として教科会や教科内を利用して教材研究や教材の共有化をしたり、積極的に授業研究をおこなっていくことを継続していきます。また、生徒の課題に対する解決方法などを教科内で話し合うことで、今以上に教員が自信をもって分かる授業展開をおこない、生徒の学習支援をしていきます。

特別支援教育について

若葉台中学校では、様々な特性をもった生徒に対し個々の課題を理解し、個に応じた特別支援に教職員全員で取り組んでいます。しかし、現在の特別支援の取組に十分満足し、自信をもっているかという点必ずしもそうではありません。保護者の皆様からも十分という評価はいただいていないことを踏まえて、今以上に計画的、組織的に生徒理解を行い、その生徒に必要な支援を具体的に進めることができる体制を確立していこうと考えています。